

ダブル受賞!

教育委員会賞（小学校の部）

万騎が原小学校 6年 山崎 明莉

『敷き詰めました！ちらしそぼろ弁当』

にんじんを花形に切る時、ふつう型にはめますが、このお弁当のにんじんは、自分で包丁で切ったことがアピールポイントです。最初はきん張しましたが、質問された時は、自分の思ったことをスムーズに言えたので、とても良かったです。



受賞おめでとうございます。山崎さんの「ちらしそぼろ弁当」はあけた瞬間、誰もが笑顔になる楽しいお弁当です。おばあ様から教わったとりそぼろを土にイメージしたことに感心しました。（木村直弘・大平はな）

教育委員会賞（特別支援学校の部）

ろう特別支援高等部 高等部3年 松本 佳太

『初めての手料理弁当』

世界中の国の発祥の料理を作って、外国人とのふれあいを深めたいと思って作りました。未来の世界が平和に、みんなが食べられるように自分も頑張りたい。緊張したが、やさしく声をかけてくれて、心が落ち着くことができました。



初めてお弁当作りに挑戦したとは思えないほど、彩り豊かで味付けにもこだわったお弁当でした。いつもお弁当作りをしているお母さんとぜひ一緒に食べてほしいなと思いました。これからもお弁当作りを続けてくださいね。（木村直弘・大平はな）

教育委員会賞（中学校の部）

にこリーナクッキング大賞


本牧中学校 1年 谷村 愛

『不思議の国の花畑』

このお弁当は、明確なテーマがある中で個性を出すことを考えて一生懸命献立を考えました。ネットにあるレシピをもとに、自分なりにアレンジしたりすることは楽しかったです。他の人たちのお弁当の発想は私になかったものばかりで勉強になりました。



誰もが想像する“お花畑”とは、一味も二味ちがった谷村さんの世界観が表現されたお弁当でした。調理の方法や味付けの工夫が感じられた点も良かったです。これからも料理の腕をみがき、お弁当のさらなるレベルアップを目指してください。（木村直弘・大平はな）



9年目を迎え、応募した児童・生徒を「誰ひとり取り残さない弁当コンクール」が実現しつつあります。今年度も7月から応募用紙が横浜すばいすの事務所に届き始めました。たった一枚の応募用紙ですが、くり返し弁当作りに挑む工夫や苦勞、熱い思いが伝わってきます。二次審査で出会う児童・生徒の発表を聞き、実際にお弁当を目にするとよく分かります。皆さんにお返しする応募用紙には、審査員とスタッフが多くの時間をかけ、熱い思いでコメントを書きました。ぜひ読んでいただき、次年度の応募のヒントにしてください。

(一社)横浜すばいす 代表理事 北村克久

このコンクールを支えてくださっている団体・企業に感謝いたします。

主催：一般社団法人 横浜すばいす <http://y-spice.com>

E-mail bento@y-spice.com

共催：公益財団法人 よこはまユース

後援：横浜市教育委員会・(公財)よこはま学校食育財団・一般財団法人横浜市安全教育振興会

横浜市立小学校長会・横浜市立中学校長会・横浜市立特別支援学校長会

横浜市 PTA 連絡協議・JA横浜・横浜マリノス株式会社・株式会社崎陽軒・株式会社池商

賛助：株式会社野口食品・石井商事運輸株式会社・株式会社名給・株式会社 SN 食品研究所

愛知ヨーク株式会社・理研ビタミン株式会社

協賛：アルファー食品株式会社・株式会社八丁幸・昭和食品株式会社・カセイ食品株式会社・港南ゴルフセンター

賞品提供：エバラ食品工業株式会社

協力：ユカナガシマクッキングサロン 参加賞提供：JA横浜・横浜マリノス株式会社

報告書作成：情報科学専門学校 Web 技術科 報告書・参加賞発送：横浜市立若葉台特別支援学校

情報科学専門学校 Web 技術科：古座野愛斗 山田楓真 神山青空 藤岡慎一郎 柿原里菜 栗林明日花 片山祐里

